

OS09-2 難治性疾患ターゲットに挑戦する北の化合物スクリーニング拠点形成

○有賀 寛芳¹

¹北大院薬

北海道大学では難病を含む多くの疾患の発症機構、診断・治療研究が精力的に高いレベルで行われており、創薬及び医療の橋渡し研究を目的としたセンターが開設され、産学連携本部を通じてその成果を企業等に発信している。また、人材育成本部を中心として若手、女性研究者育成を積極的に行っている。しかしながら、基礎疾患研究から得られた疾患ターゲットに対する化合物をスクリーニングし橋渡し研究に送る部門および設備が欠如している。この点を埋めるべく、「北海道大学大学院薬学研究院創薬科学研究教育センター」を計画し、薬学研究院と関連部局の生物化学、有機化学、物理化学、薬剤学の領域を超えた疾患研究専門家集団が結集し、北海道大学の特色を反映しながら、リスクが高く企業が手を出さない疾患ターゲットに挑戦し、若手、女性研究者を積極的に参画させた外部開放型の北海道化合物スクリーニング拠点形成を行う。とりわけ、医学部、北大病院、未来創薬・医療イノベーション推進室との連携を図る。